

婦人部

無産運動に於ける婦人部組織の重要なるは今更説明する迄も無い。昨年度大会以来、縣聯執行部は各地区に於て之の幾度か婦人部組織を指令し、結果は漸く日高地区と那賀地区に其の組織を見られた。随て迄に於ても日高地区以外に見るべきものなき遺憾とするものがあるが、日高地区婦人部、志賀班、切山班、昨夏、立禁、斗争中に於ける地主に対するテモ戦、文書戦、官憲、暴圧に対する抗議、テモ、斗争男子も及ばぬ勇敵なる斗争振りは特筆すべきものであると信ずる。其の他日高地区婦人部は無産婦人同盟に加盟し、昨年八月二十日其の支部結成式を以て行し、同盟本部より、右外とみゑ、企大政又部より、吉岡草子斗争を起すの氣勢を以て政治斗争へ躍進を決議し、以来昨秋の縣會議員選挙斗争、本年の衆議院選挙に或は東武、北海道、釧路、農民救済街頭募金運動に参加し、其の迄に

政治部

見るべきものあり。
事業(産業部参照)
吾が聯合会は全國の農民を以て同志の指導に依り政治斗争を進

め、来たらが昨年七月三党合同に依る全國労働大衆党結成されるや当然ニ此が支持團體として今日に到つた。然る政治部は個々の政治問題に關して企党的主義政策を組合政治斗争の上で有知に戦ひ取るべく、全党支部聯と協力、下と斗争を續け、其の

(1) 由農会総代選挙闘争

一九三一年五月三十一日行はれ、農会総代選挙戦に對しては第三回縣聯大会に於て「農会を吾等の手に奪還する事」を決議した。投票日直前に到つて党組合本部、指令に本州、縣聯政治部、党農村委員会は共同指令を發し、農会総代選挙への積極的活発を促し、結果は組合員の立候補者、全部当選と言ひ、産倒の大勝利を勝ち得た(当選者左如し)

- 日 前田岩吉、井崎七吉、溝口杉松、中岡守三郎、中岡友造、小畑重二郎、
福島國松、吉田喜市、宮本常太郎 (以上赤川村)
- 高 東山彌太郎、太田弥吉、日野福二郎 (以上野口村)
- 岩城平松、石城勇吉、中野治三郎、石田熊太郎、津賀貞二郎 (以上池田村)
- 中村園次郎、下塚常吉 (以上切目村)